
やめよっかナ～平成22年11月

京都産業大学応援やめよっかナ？

ボックスのディフェンス悪い、フォワードの集散悪い、スクラム弱い、タッチキック切れん、タックル高い、レフリーのスキル低い、監督の顔悪い。日程悪い、グラウンド悪い、方角悪い。子供手当が不公平、国会軽視発言の法務大臣悪い、仕事無い、景気悪い…って、どこまで続くんや。

今年のラグビーは、面白くありません。観戦する度にフラストレーション溜まるばかりで、だんだん嫌いになってきました。



これに比べて、近畿大学のラグビーは素晴らしい。昨年Bリーグに陥落して今年復活。ボックス・フォワードが一体化したイケイケ・ラグビーで観客を楽しませてくれます。昔、低迷した同志社大学が選択した「ポイントからゴール」すなわち、ペナルティーを貰ったら、ゴールを狙わず、ちょん蹴りからスタートして一気にたたみ掛ける。相手だけでなくレフリーまでもついていけないスピードで前に進みます。焦った相手は思わず手を出して、ノット10メートル。ペナルティーを貰ってまた進む。

集中力が命のこの戦法は、チームとしての意思統一がしっかりしている証拠で、地域を占有した方が勝利を手にするというラグビーの鉄則に忠実なものだと思います。この集中力が、最大に発揮できたのは、悔しいけれど京都産業大学戦。近畿大学側の応援席に座ったら、心からラグビーが楽しめただろうと羨ましく思いました。

これから始まる全国大会では、天理大学・関西学院大学などと共に関西リーグの代表として関東のチームと対戦していくことになると思いますが、「近大旋風」を巻き起こして、台風の目として勝ち進んでくれる事を期待しています。



2点ビハインドで貰ったペナルティー。残り時間は、ロスタイムを含めて2分。敵陣10メートルライン付近・左タッチラインに近いポジション。「PGを狙う」か、「タッチキックを蹴ってラインアウトからの攻撃に全神経を集中する」か・11月21日鶴見競技場で開催された、大阪体育大学戦での勝敗を別けた選択。勝敗を大きく左右する選択でチームの意見がバラバラで、ベンチの指示を貰って時間を空費した結果の選択がPG狙い。

この重責を務めたのはCTB猿渡。ゴールを外して相手ボール、ラックで時間を費やされてタッチキックで万事休す。

そりゃ負けるでしょ。キャプテンは誰ですか？まずは、レフリーにロスタイムの確認をして、キャプテンがプレーを選択。チーム一丸となって意思統一した方向で勝利を目指すのが普通のはず。かつてのカリスマキャプテンが、そんな事教えてない？いや、教えるのじゃなくて、チームをそんな方向に導くのが監督ではないのでしょうか？また、チームとしてラグビー精神の「One For All , All For One」を忘れてしまったのでしょうか。

ここでの選択はキャプテン・佐藤一斗が下すべきで、チームメイトは「カズトが決めた事が正しい。カズトが決めた事が間違えでなかった事を証明する。」と意思統一し、勝利への執念で集中すれば、勝利を手にしたかも知れません。

結論は勝たなきゃダメ。勝つために何をすれば良いのか。

京都産業大学には、伝統のフォワード力、誰にも止められないドライビングモールとダボスの坂をも押し切るスクラムトライがあるじゃないですか。ボックスだって、魂のタックルと秘密兵器の展開ラグビーを隠し持っているし。

過去にこだわる、こだわらないは別として、「これが京都産業大学のラグビーだ！」ってものを早く見つけて、「One For All , All For One」を再確認して、勝利目指して突き進んで貰いたいと思っています。

そして、勝てば、タックルミスもタッチを切れ無くてもご愛嬌だし、レフリーだって人間ですから少々のポカも許せますし、監督の顔も「キリリとした精悍な顔つき」って表現に変わります。日程やグランド・方角も恵方だと思えるし、景気も良くなるはず。

(以上平成22年11月22日記)



さて、そんな気分から1週間。最高の天気、恵方の花園ラグビー場。精悍な顔つきの監督と、最高のモチベーションで試合に臨むフィフティーン。11月28日の立命館大学戦は、最高の仕上がりで勝利を手にしました。

ゴール前、最初に貰ったペナルティーは、スクラム選択。そのまま押し込む事は出来ませんでした。秘密兵器のボックスに展開して、まずは先制トライ。スクラムハーフの田中大治郎は、最高の仕上がりで、山下楽平、三原亮太の常翔啓光学園出身の2人のルーキーのステップも冴えわたり、フォワードもきっちりと仕事をして、結果は39対12。関西リーグ5位で、瑞穂での大学選手権予選行きの切符を手にしました。

スタンドも狂喜乱舞。久々に幸せな気分でラグビー観戦ができました。



以上、失礼な言葉を並べましたが、首脳陣の皆さんと現役ラグビー部員の皆さんにお願いします。ともかく、今日の試合みたいに、勝ちましょう。勝とう。勝つぞー！

そして、楽しくラグビーを観戦させて下さい。楽しく観戦させていただけるなら、名古屋・福岡・東京、どこでも赤紺のフラッグを振って「押～せ！押～せ！」と声の続く限りコールしたいと思っています。頑張れ産大！！



(以上平成22年11月28日記)

Top
トップ
↑

Back
戻る



[応援やめたっ！～平成23年11月](#)